

2024/3/23 JDCHCT/全国調査ニュース (第46回 日本造血・免疫細胞療法学会総会プログラム)

Cellular Therapy Registry FormsNet3の入力について

桜井 友実 (日本造血細胞移植データセンター, JDCHCT)

FormsNet3入力の留意点

1. 治療ライン
2. CAR-T後に造血細胞移植を実施した場合
3. 患者とコンタクトを取った日(フォローアップ)
4. 細胞治療製品の識別番号について
5. FormsNet3ログイン時の二段階認証

実際にみなさまからご質問頂く内容をもとに、
FormsNet3入力の留意点として、ご覧の内容をご説明いたします。

FormsNet3入力の留意点

1. **治療ライン**
2. CAR-T後に造血細胞移植を実施した場合
3. 患者とコンタクトを取った日(フォローアップ)
4. 細胞治療製品の識別番号について
5. FormsNet3ログイン時の二段階認証

「治療ライン」についてです。

1. 治療ライン

実施した治療を回答する中に **治療ライン** という項目があるが…

治療ライン (治療レジメン)

造血細胞移植および細胞治療の全国調査
細胞治療 F2011/F2016/F2018 輸注前情報

輸注前に実施された治療 質問：●●●

- 治療を実施しましたか？
 - はい/有 → 質問●●●
 - いいえ/無 → 質問●●●
- **治療ライン (治療レジメン)** 質問：●●●
- 全身治療
 - はい/有 → 質問●●●
 - いいえ/無 → 質問●●●
- 治療開始日
 - 該当データ有り
 - 不明
- 開始日：____ / ____ / ____ (YYYY/MM/DD)

初発時の1stラインのこと？
もしくはすべてのレジメンのこと？
どの範囲の入力が必要か教えてほしい

CAR-T輸注前に造血細胞移植を行ったが
造血細胞移植や移植前処置についても
治療ラインに入力する？



実施した治療を回答する中に 治療ライン という項目がありますが、
この入力範囲について
「初発時の1stラインのみの入力なのか、全てのレジメンの入力が必要か？」
「CAR-T輸注前に造血細胞移植を行ったが造血細胞移植や前処置についても入力が必要か？」
といったご質問を頂きます。

1. 治療ライン

何(どの治療)を入力する？ 

FormsNet3の「治療ライン (レジメン)」へ入力する治療

- 実施した全身化学療法、髄腔内療法、放射線療法、細胞治療の全ての治療
※造血細胞移植は入力しない
- 同じ期間内に同じ目的(導入、地固め、維持療法など)で実施した治療を1ラインとする
患者の疾患の状態により治療変更となった場合、治療を変更した場合は、新しい治療ラインと見なす

! 重要なポイント!

複数の治療ラインがある場合は、該当セッション最下部の「+」マークをクリックして「治療ライン (治療レジメン)」の入力欄を追加、2ndライン目以降を入力します



5

「何・どの治療を入力するのか？」という点についてです。

FormsNet3の「治療ライン」へ入力する治療は、実施した全身化学療法、髄腔内療法、放射線療法、細胞治療の事を指しております。
※造血細胞移植については入力から除外されております。

同じ期間内に導入、地固め、維持療法など同じ目的で実施した治療を1ラインとして入力します。
治療変更となった場合は、新しい治療ラインと見なされます。

複数の治療ラインがある場合は、FormsNet3の該当セッション最下部のオレンジ色の「+ (プラス)」マークをクリックするとセッションが追加されます。
こちらに2ndライン目以降を入力ください。

1. 治療ライン

いつ実施した治療を入力する？ 

入力の対象となる治療ライン・治療の実施時期

CAR-T輸注前の治療ラインを入力する場合（ベースラインのフォームの場合・例：F2011/2016/2018）

- CAR-T治療の適応となった疾患の「**診断**」～「**CAR-T投与時の前処置(リンパ球除去療法)開始**」までに実施した治療

※形質転換後に実施したCAR-T治療での本質問については、別途項目定義をご確認頂くか、ご不明な場合はJDCHCTにご連絡ください

CAR-T輸注後の治療を入力する場合（フォローアップのフォームの場合・例：F2111/2116/2118）

- CAR-T治療の適応となった疾患の「**最終報告日**」※～「**当該フォーム報告時点**」までに実施した治療

※「最終報告日」：現在入力頂くフォームの1つ前で報告頂いた日付のこと。100日フォームの場合は輸注日を指し、6ヶ月フォームの場合は100日フォームで入力したコンタクト日を指す

例えば、3つ治療ラインが存在する場合は、1つの治療ラインとして報告するのではなく「治療ライン（治療レジメン）」の入力欄を追加し2ndライン目以降を入力ください
※詳細はP5をご覧ください

※注意点：造血細胞移植も実施されている患者の場合：

造血細胞移植の情報（造血細胞移植の前処置・維持療法も含む）はFormsNet3の「治療ライン（レジメン）」としては入力しません

➡造血細胞移植情報は前処置等も含めTRUMPへご入力ください

➡FormsNet3に「造血細胞移植の実施状況」についての質問があります為、

治療ラインではなく当該質問にて造血細胞移植の実施状況をご回答ください（例：F4000/4100等）

「いつ実施した治療を入力するのか？」という点についてです。

入力の対象となる治療ラインの実施時期ですが、

まず、ベースラインのフォームでCAR-T輸注前の治療ラインを入力する場合は

CAR-T治療の適応となった疾患の

「**診断**」～「**CAR-T投与時の前処置開始**」までに実施した治療 を指します。

※形質転換後に実施したCAR-T治療での本質問については、別途項目定義をご確認頂くか、ご不明な場合はJDCHCTにご連絡ください。

続いて、フォローアップのフォームでCAR-T輸注後の治療を入力する場合は

前回のFormsNet3での報告 ～「**当該フォーム報告時点**」までに実施した治療 を指します。

ひとつ前のスライドでもご説明しましたが、例えば、3つ治療ラインが存在する場合、

1つの治療ラインとして入力するのではなく

「治療ライン（治療レジメン）」の入力欄を追加し2ndライン目以降を入力ください。

尚、前処置や維持療法を含む、造血細胞移植の情報についての詳細は

治療ラインの入力対象とはなりません。

造血細胞移植情報はTRUMPにてご入力ください。

ただし、FormsNet3にも「造血細胞移植」の実施状況についての質問がございます為、

治療ラインではなく当該質問にて造血細胞移植の実施状況をご回答ください。

FormsNet3入力の留意点

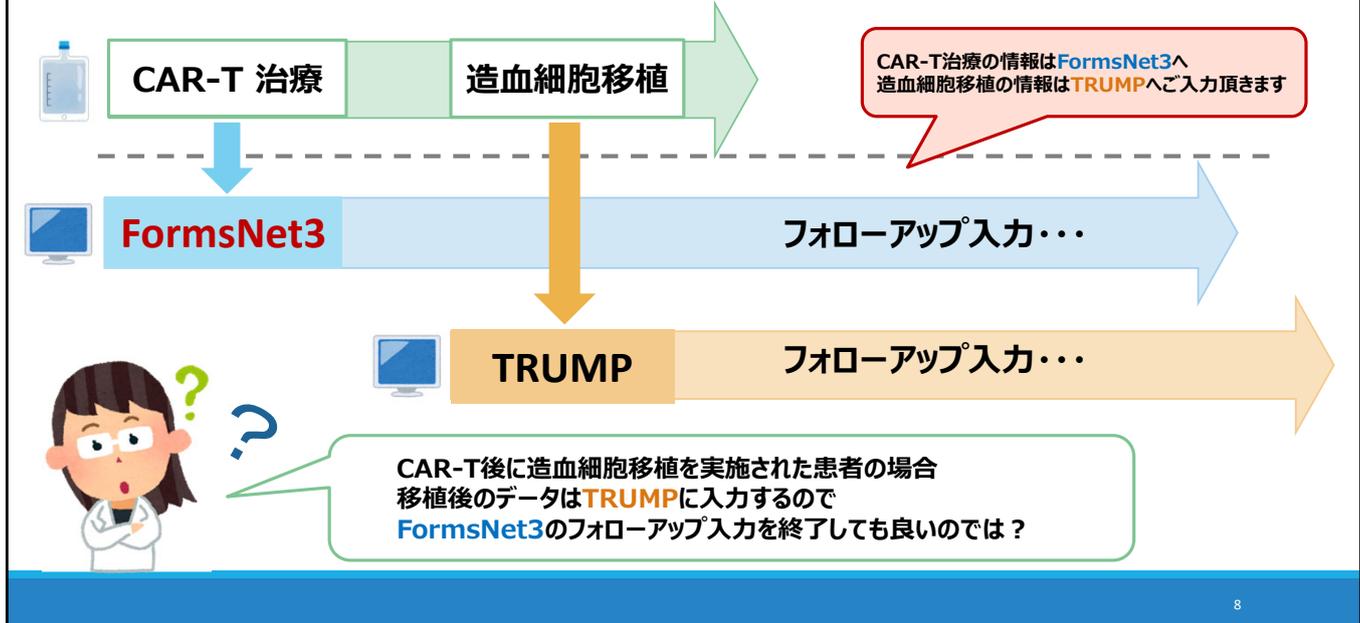
1. 治療ライン
- 2. CAR-T後に造血細胞移植を実施した場合**
3. 患者とコンタクトを取った日(フォローアップ)
4. 細胞治療製品の識別番号について
5. FormsNet3ログイン時の二段階認証

「CAR-T後に造血細胞移植を実施した場合」についてです。

2. CAR-T後に造血細胞移植を実施した場合

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

例：患者でCAR-T治療後に造血細胞移植も実施したケース



CAR-T治療を実施された際に、FormsNet3に入力を頂いております。

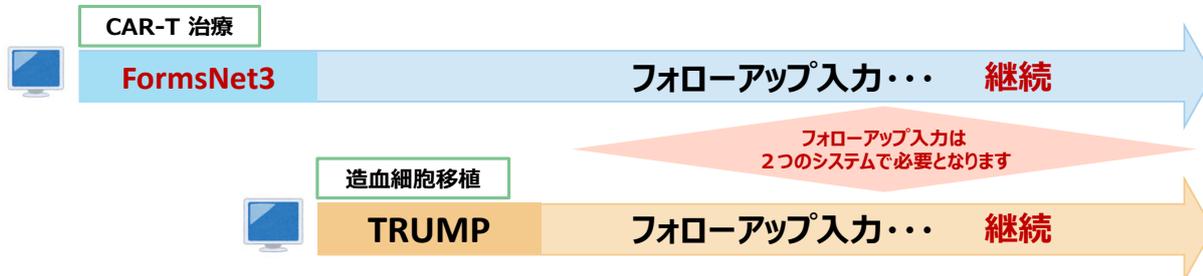
その後、同じ患者がCAR-T治療後に造血細胞移植を実施された場合、造血細胞移植の情報はTRUMPへ入力いただくことになります。

そのことから、
「造血細胞移植後のデータはTRUMPに入力するので FormsNet3の入力を終了しても良いのではないか？」
というご質問を頂戴します。

2. CAR-T後に造血細胞移植を実施した場合

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

例：患者でCAR-T治療後に造血細胞移植も実施したケース



造血細胞移植後のデータはTRUMPに入力することになるのでFormsNet3のフォローアップ入力を終了しても良いのでは？



TRUMPの入力開始後も、CAR-T治療のフォローアップの情報入力はFormsNet3で継続する必要があります
造血細胞移植後にCAR-T細胞の再活性化が起こる可能性があり、複合的なフォローアップが重要と考えられている為です

9

TRUMPの入力開始後も、CAR-T治療のフォローアップ情報入力はFormsNet3で継続する必要があります。理由は、造血細胞移植後にCAR-T細胞の再活性化が起こる可能性があり、複合的なフォローアップが重要と考えられている為です。

従いまして当該の症例についてはTRUMP・FormsNet3の2つのシステムでのフォローアップ入力が必要となります。

2. CAR-T後に造血細胞移植を実施した場合

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

入力時の注意点は？



- **毒性・CRS等は、造血細胞移植実施後に発生した内容もFormsNet3へ入力する**

※細胞治療レジストリ・項目定義に記載より：

因果関係や治療が行われたかどうかに関係なく、この報告期間中、CAR-T輸注後に発生した毒性または感染症を報告してください。目的は、CAR-T治療製品の輸注後に診断されたすべての毒性を収集することです。輸注後に行われた治療(例えば移植)は、CAR-T治療製品を再活性化し、毒性(例えば CRS など)を誘発するかもしれませんが、その場合においても発生した毒性は入力ください。

- **細胞治療後(CAR-T治療後)の「最良効果」は、造血細胞移植実施前までの情報にて報告し、その後のフォローアップフォームでは「最良効果日はこれまでに報告済」として入力する**

- **FormsNet3の「造血細胞移植実施」の質問に造血細胞移植実施状況を報告し、F2804(CRID発番フォーム)に一元管理番号(TRUMP番号)を入力する**

※F2804の入力方法は次ページ参照

10

「CAR-T後に造血細胞移植を実施した場合」の入力時の注意点です。

- CAR-T輸注後に診断されたすべての毒性を収集する為、毒性・CRS等は、造血細胞移植実施後に発生した内容もFormsNet3へ入力ください。例えば、CAR-T後に行われた造血細胞移植により、CRSなどを誘発したと考えられる場合においても発生した毒性は入力ください。

- 細胞治療後の「最良効果」を問う質問には、造血細胞移植実施前までの情報にてご報告頂き、その後のフォローアップフォームでは「最良効果日はこれまでに報告済」として入力ください。

- FormsNet3の「造血細胞移植実施」の質問に造血細胞移植実施状況を報告し、F2804(CRID発番フォーム)に一元管理番号(TRUMP番号)を入力ください。※F2804の入力方法は次ページ参照

一元管理番号(TRUMP番号)を F2804(CRID発番フォーム)へ入力する方法

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

The screenshot shows the FormsNet3 interface for F2804 (Cellular Therapy Registration - CRID Issuance Form). The form is titled "FormsNet3SM F2804 (細胞治療登録一元管理番号 (CRID) 発番フォーム)". The "Recipient" tab is active. The breadcrumb trail is: My Work/Messages > Recipient Forms > Search/Edit CRID > Form Edit 2804. The form content includes a "Key Field" section with "CIBMTR Center Number" and "Patient Basic Information" section with "Team ID (former CIBMTR #)" and "Institutional Subject ID". The "TRUMP Number" field (item 18) is highlighted with a red dashed box and a red arrow pointing to it. The field contains "XXXXXXXX-XXXXXX".

FormsNet3にて

一元管理番号 (TRUMP番号) を入力する箇所

F2804 (細胞治療登録一元管理番号(CRID)発番フォーム) 内に「一元管理番号 (TRUMP番号)」の項目がございます。

入力する際は数字6桁の後に必ず「-」(半角ハイフン)のご入力をお願いいたします。(例.123456-789)

! 一元管理番号 (TRUMP番号) は
CAR-T輸注後に造血細胞移植をした場合のみならず、
CAR-T輸注前に造血細胞移植を行った場合も入力ください

F2804の検索・編集方法は
次のページ参照

11

◆FormsNet3にて

一元管理番号 (TRUMP番号) を入力する箇所

F2804 (細胞治療登録一元管理番号(CRID)発番フォーム) 内に「一元管理番号 (TRUMP番号)」の項目がございます。

入力する際は数字6桁の後に必ず「-」(半角ハイフン)のご入力をお願いいたします。(例.123456-789)

今回は、CAR-T輸注後に造血細胞移植を実施した場合を例にご説明をさせていただいてますが、TRUMP番号はCAR-T輸注前に造血細胞移植を実施されている場合にも入力が必要となります。

一元管理番号(TRUMP番号)を F2804(CRID発番フォーム)へ入力する方法

**F2804の
検索・編集方法①**

1.「Recipient」をクリック
2.上から2段目で「Assign CRID」をクリック
3.「Search/Edit CRID」をクリック
4-1.「CRID」が分かる場合は「CRID番号」を入力
5.「検索」をクリック
4-2.「CRID」が不明の場合はイベント日、性別、生年月日等を入力し、「自施設のみを検索」にチェック
5.「検索」をクリック

F2804の検索・編集方法①

- 1.一番上のタブで「Recipient」をクリックします。
- 2.上から2段目で「Assign CRID」をクリックします。
- 3.すると3つ選択肢が表示されますので、「Search/Edit CRID」をクリックします。
検索ページが表示されます。
- 4-1.細胞治療登録一元管理番号（CRID）がわかる場合
検索欄に症例毎に割り当てられている「細胞治療登録一元管理番号(CRID)」を入力します。
- 4-2.細胞治療登録一元管理番号（CRID）がわからない場合
「イベント日」、「性別」、「生年月日」等を入力し、「自施設のみを検索」にチェックを入れます。
- 5.「検索」ボタンをクリックします。

一元管理番号(TRUMP番号)を F2804(CRID発番フォーム)へ入力する方法

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

F2804の 検索・編集方法②

F2804の編集が可能になります
一元管理番号(TRUMP番号)を入力ください

Home Recipient
Assign CRID Work In Progress Recipient Forms Center Forms Due
My Work/Messages Recipient Forms Security Toolset Search/Edit CRID

CRIDの検索/編集

種類で検索: CRID 検索:

名前(名): 苗字(姓): イベント日: YYYY-MM-DD

性別: 生年月日: Social Security #:

男 女

YYYY-MM-DD

CRID(s)

CRID	NMDP RID	IUBMID/team	Registry ID	イベント
[REDACTED]				

フォームの編集 1 / 1

当該CRIDが表示されたら「フォームの編集」をクリック

FormsNet3SM

F2804 (細胞治療登録一元管理番号 (CRID) 発番フォーム)

Home Recipient
Assign CRID Consent Tool Work In Progress Recipient Forms Center Forms Due
My Work/Messages Recipient Forms Search/Edit CRID Form Edit 2804

細胞治療登録一元管理番号 (CRID) 発番フォーム - [REDACTED]

キーフィールド

CIBMTRセンター番号: [REDACTED]

患者基本情報

16 Team ID (former CIBMTR #): Four characters allowed

17 施設固有の被験者ID: 15文字以内

18 一元管理番号 (TRUMP番号): XXXXXX-XXXXXX

入力する際は数字6桁の後に必ず「-」(半角ハイフン)のご入力をお願いいたします (例.123456-789)

F2804の検索・編集方法②

検索条件に該当するCRIDが表示されますので、
緑の吹き出しの箇所、該当症例の「フォームの編集」ボタンをクリックすることで
F2804 (細胞治療登録一元管理番号(CRID)発番フォーム) の編集画面にたどり着くこと
ができます。

当該患者の「一元管理番号(TRUMP番号)」を入力ください。
入力する際は数字6桁の後に必ず「-」(半角ハイフン)のご入力をお願いいたします。
(例.123456-789)

2. CAR-T後に造血細胞移植を実施した場合

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

F4100の「最終報告日以降に、患者に造血細胞移植を実施した」という造血細胞移植実施日に実際の造血細胞移植実施日を入力しても、エラーになってしまふ



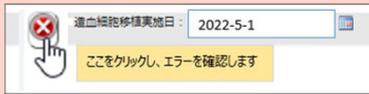
※入力した造血細胞移植実施の日付に対してのエラーが発生する場合があります

- F4100の造血細胞移植日の質問については北米の事情に影響したロジックが組まれており、造血細胞移植日によってはエラーになってしまふ場合があります

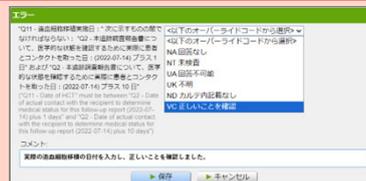
【対応】

実際の造血細胞移植実施日を入力頂いても、エラーが表示された際は、オーバーライドコードで「VC正しいことを確認」を選択し、コメントに「実際の造血細胞移植の日付を入力し、正しいことを確認しました」と入力し送信する

オーバーライドコード設定方法



※オーバーライドコードについては、入力内容をご確認いただきやむを得ない場合のみご設定いただけます様お願いします



FormsNet3マニュアル：フォームの修正(エラーメッセージへの対応)参照

CAR-T輸注後に造血細胞移植を実施した場合、フォローアップフォームのF4100に実施した造血細胞移植の情報を入力頂く項目がございます。

F4100の「造血細胞移植実施日」の質問については北米の事情に影響したロジックが組まれており、造血細胞移植日によってはエラーが生じる場合があります。

実際の造血細胞移植実施日を入力頂いても、エラーが表示された際は、オーバーライドコードで「正しいことを確認」を選択し、送信してください。

尚、オーバーライドコードについては、入力内容をご確認いただき、やむを得ない場合のみご設定いただけます様お願いします。

FormsNet3入力の留意点

1. 治療ライン
2. CAR-T後に造血細胞移植を実施した場合
- 3. 患者と接触を取った日(フォローアップ)**
4. 細胞治療製品の識別番号について
5. FormsNet3ログイン時の二段階認証

フォローアップフォームの「患者と接触を取った日」についてです。

3. 患者とコンタクトを取った日(フォローアップ)

細胞治療 F4100: 細胞治療 フォローアップ

生存
<ul style="list-style-type: none">● 本追跡調査報告書について、医学的な状態を確認するために実際に患者とコンタクトを取った日： _____ / ____ / ____ (YYYY/MM/DD)● 最後にコンタクトを取った日の患者の生存状況を選択してください：<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 生存 これ以降の質問では、最終報告日以降の臨床状態について回答してください。<input type="checkbox"/> 死亡 これ以降の質問では、最終報告日から死亡直前までの臨床状態について回答してください。 Form 2900 にも記載してください。

細胞治療 フォローアップフォーム (F4100) に「本追跡調査報告書について、医学的な状態を確認するために実際に患者とコンタクトを取った日」という質問があるけど…



コンタクトを取った日付は
どの日付を入力すればいい？



患者が亡くなってしまった場合
コンタクト日は
どの日付を入力すればいい？

細胞治療 フォローアップフォーム (F4100) に「医学的な状態を確認するために実際に患者とコンタクトを取った日：」という質問があります。

こちらで回答いただく日付について、「入力する日付はどれか？」
「患者が亡くなってしまった場合のコンタクト日はどの日付か？」
というご質問を頂きます。

3. 患者とコンタクトを取った日(フォローアップ)

F4100 の当該フォーム(Visit)で「生存」を報告する場合

- **コンタクト日**：医学的な状態を確認するために実際に患者とコンタクトを取った日(診療した日)を入力する
 - ➔ CAR-T治療施設の医師、紹介元施設または現在患者の診療に責任がある医師による評価が望ましい
 - ➔ フォローアップフォームで指定された評価時点(Visit：例100日/6か月/毎年のフォローアップ)に最も近いコンタクト日の患者情報について入力する

例：



CAR-T施設受診日：患者の受診日の日付をコンタクト日に入力ください

紹介元施設受診日：診療情報提供書等を元にデータ入力頂く場合は、
(他施設) **診療情報提供書記載の受診日**の日付をコンタクト日に入力ください

17

F4100で「生存」を報告いただく際のコンタクト日についてです。

コンタクト日には、医学的な状態を確認するために患者を診療した日付を入力ください。望ましい評価は患者の診療に責任がある医師による情報です。

(CAR-T治療施設の医師、紹介元施設または現在患者の診療に責任がある医師)

フォローアップフォームで指定された評価時点（例えば、Visit100日、6か月など）に最も近いコンタクト日について患者情報を入力します。

例で表示の図のように、

100日時点で、CAR-T治療施設にて受診された場合は、患者の受診日をコンタクト日に入力ください。

例で表示の図の6ヶ月のように、紹介元施設などの他施設にて患者を診療されており、診療情報提供書などを元にFormsNet3へ入力頂く場合は、診療情報提供書に記載されている受診日をコンタクト日に入力ください。

3. 患者とコンタクトを取った日(フォローアップ)

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

F4100 の当該フォーム(Visit)で「死亡」を報告する場合

- コンタクト日：死亡日を入力する

F4100で死亡を報告をするとF2900(死亡フォーム)が作成されます

- ・F4100のコンタクト日・死亡日…①
- ・F2900の死亡日…②

①・②の2つの日付は必ず一致した日付を入力してください

フォーム 4100 R9.0: 細胞治療 フォローアップ

① F4100 : コンタクト日(死亡日)

2 本追跡調査報告書について、医学的な状態を確認するために実際に
実際に患者とコンタクトを取った日: 2022-5-1

3 最後にコンタクトを取った日の患者の生存状況を選択してください

生存 - これ以降の質問では、最終報告日以降の臨床状態について回答してください。

死亡 - これ以降の質問では、最終報告日から死亡直前までの臨床状態について回答してください。Form 2900にも記載してください。

フォーム 2900 R5.0: 患者死亡情報

② F2900 : 死亡日

1 死亡日: 2022-5-1

確定した日付である



※注意※死亡の報告をされる場合：

該当症例の必要なフォームを入力・提出完了後、最後に死亡フォーム(F2900)をご提出いただきますようお願い致します
F4100やF2900で死亡が報告されると新たなフォームの作成機能がストップし必要フォームが作成されなくなってしまいます

18

患者が亡くなってしまい、当該フォーム・Visitにて死亡を報告される場合は、死亡日をコンタクト日として入力ください。

F4100で死亡を報告をするとF2900(死亡フォーム)が作成されます。

- ・F4100のコンタクト日・死亡日…①
- ・F2900の死亡日…②

①・②の2つの日付は必ず一致した日付を入力してください。

FormsNet3で死亡が報告されると、新たなフォームの作成機能がストップし必要フォームが作成されなくなってしまうため、該当症例の必要なフォームを入力・提出完了後、最後に死亡報告フォームをご提出いただきますようお願い致します。

FormsNet3入力の留意点

1. 治療ライン
2. CAR-T後に造血細胞移植を実施した場合
3. 患者とコンタクトを取った日(フォローアップ)
- 4. 細胞治療製品の識別番号について**
5. FormsNet3ログイン時の二段階認証

「細胞治療製品の識別番号」についてです。

4. 細胞治療製品の識別番号について

F4006 細胞治療製品の輸注には
「この細胞治療製品の識別番号」という項目があるけど…

細胞治療 F4006 R6.0: 細胞治療製品の輸注

細胞治療製品輸注

- この細胞治療製品の識別番号を選択してください。(当てはまるものをすべて選択してください)
 - 細胞製品 ID
 - バッチ番号
 - ロット番号

入力する番号は
CAR-T製品ごとに異なるの？



細胞製品ID・バッチ番号・ロット番号
どの番号を入力すればいい？

F4006 には
「この細胞治療製品の識別番号」という項目がありますが、

「入力する番号はCAR-T製品ごとに異なるの？」
「細胞製品ID・バッチ番号・ロット番号 どの番号を入力すればいい？」
というご質問を頂戴します。

4. 細胞治療製品の識別番号について

F4006で回答する「**識別番号**」は
CAR-T製品ごとに異なります

細胞治療 F4006 R6.0: 細胞治療製品の輸注

細胞治療製品輸注
<ul style="list-style-type: none">この細胞治療製品の識別番号を選択してください。(当てはまるものをすべて選択してください) <input type="checkbox"/> 細胞製品 ID <input type="checkbox"/> バッチ番号 <input type="checkbox"/> ロット番号

現在上市されているCAR-T製品については、下記識別番号を必ず入力ください

CAR-T 製品	識別番号
ブレヤンジ / アベクマ	細胞製品ID
キムリア	バッチ番号
イエスカルタ	ロット番号

※詳細は「細胞治療レジストリ・項目定義」をご確認ください

ご入力いただく番号に間違いがないかご注意ください

数字「0」と英字「O」等が誤って入力されているケース・

識別番号の一部のみ記載されているケースが確認されております

F4006で回答いただく「識別番号」はCAR-T製品ごとに異なります。

現在上市されているCAR-T製品については、

- ブレヤンジ・アベクマの場合は、「細胞製品ID」を
- キムリアの場合は、「バッチ番号」を
- イエスカルタの場合は、「ロット番号」を

必須でご入力ください。

※それ以外の番号は任意でご入力ください。

詳細は「細胞治療レジストリ・項目定義」をご確認ください。

尚、数字の「0」とアルファベットの「O」など似ている文字が誤って入力されているケースや識別番号の一部のみ記載されているケースが確認されております。

ご入力の際は番号に間違いのないことをご確認頂きます様お願い致します。

FormsNet3入力の留意点

1. 治療ライン
2. CAR-T後に造血細胞移植を実施した場合
3. 患者とコンタクトを取った日(フォローアップ)
4. 細胞治療製品の識別番号について
- 5. FormsNet3ログイン時の二段階認証**

「FormsNet3ログイン時の二段階認証」についてです。

5. FormsNet3ログイン時の二段階認証

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

ログインの為にスマートフォンアプリの
Okta Verifyが必要？



FormsNet3と紐づけた
スマートフォンの機種変更を
する場合どうしたらいい？

Okta Verifyについて

アクセスの厳格化の為、FormsNet3ではユーザーネーム・パスワードでのログイン以外に「二段階認証」の設定し「本人確認」がなされております

スマートフォンなどのモバイル端末にダウンロードしたOktaVerifyアプリはあくまでログイン時の認証の為のみに使用されます

FormsNet3のアカウントをお持ちの皆様
Okta Verify設定のご協力をお願いしております



23

アクセスの厳格化に伴い、FormsNet3ではユーザーネーム・パスワードでのログイン以外に、スマートフォンアプリOkta verifyの「二段階認証」が必要となっております。

その為、アカウントをお持ちの皆様にはOkta Verify設定のご協力をお願いしております。

スマートフォンなどのモバイル端末にダウンロードしたOktaVerifyアプリはあくまでログイン時の認証の為のみに使用されます。

5. FormsNet3ログイン時の二段階認証

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

Okta Verifyを設定した
モバイル端末を機種変更するには…



早く変更が完了できる為、
お勧めです

機種変更前の場合 または

旧モバイルがネットワークに接続・使用でき、新しいモバイルも手元にある場合

- ご自身でOkta verifyを新しいモバイルへ切り替え頂くことが可能です。
対応手順をご案内いたしますので、JDCHCTにご連絡ください。



旧モバイルがネットワークに接続できない、もしくは手元がない場合

- ご自身では対応が出来ず、JDCHCT及び委託先CIBMTRでの対応が必要となります。
JDCHCTへご連絡ください。

24

Okta Verifyを設定したモバイル端末・スマートフォンを機種変更される際は…

・機種変更前ですと、ご自身で設定を変更いただく事が可能な場合がございます。
早く設定変更できるため、おすすめしております。対応手順をご案内いたしますので、
JDCHCTにご連絡ください。

・機種変更後の設定変更はご自身で対応ができず、
CIBMTRでの対応が必要となりますので少々お時間を頂戴する場合がございます。

いずれもJDCHCTまでお知らせください。

FormsNet3の入力について

細胞治療レジストリ FormsNet3
に関する情報はJDCHCTホームページで公開中です

<https://www.jdchct.or.jp/ctr/>

- FormsNet3 マニュアル
- 細胞治療レジストリ 項目定義
- 日本語版CRF

ご不明な点等ございましたらお知らせください

一般社団法人
日本造血細胞移植 データセンター (JDCHCT)
E-mail: jdchct-dc@jdchct.or.jp
TEL: 0561-65-5821 (代表)

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

細胞治療レジストリ



一般社団法人
日本造血細胞移植データセンター
The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

マニュアル

- FormsNet3マニュアル
- 細胞治療レジストリ 項目定義

日本語版CRF

- F2804 細胞治療登録一元管理番号 (CRSID) 登録フォーム
- F2814 治療法の登録
- F4000 細胞治療 輸注前情報 (CTED)
- F4001 細胞治療 輸注前情報 (詳細)
- F2402 疾患分類
- F2011 急性リンパ芽球性白血病 (ALL) 輸注前情報
- F2111 急性リンパ芽球性白血病 (ALL) 輸注後情報
- F2016 形質細胞性腫瘍 (PCO) 輸注前情報
- F2116 形質細胞性腫瘍 (PCO) 輸注後情報
- F2018 ホジキンおよび非ホジキンリンパ腫 (LNM) 輸注前情報
- F2118 ホジキンおよび非ホジキンリンパ腫 (LNM) 輸注後情報
- F4003 細胞治療製品
- F4006 細胞治療製品の輸注
- F4100 細胞治療 フォローアップ
- F4101 細胞治療 フォローアップ (詳細)
- F2149 呼吸器ウイルス感染症輸注後情報
- E3500 新たな悪性腫瘍 (二次発)
- E3501 再発フォーム
- E2900 患者死亡情報

25

Cellular Therapy Registry FormsNet3
に関する情報はJDCHCTホームページで公開中です。

ご不明な点等ございましたらお知らせください。